

## 74 相馬復興市民市場（浜の駅松川浦）整備事業

受賞機関 相馬市

キーワード 復興のシンボル、風評の払拭、官民合同会社

## 全建賞審査委員会の評価ポイント

相馬市沿岸部の地域産業振興と原発事故による風評の払拭等を図る市民市場整備事業。復興に向けて、地元経営者を集めた官民合同の運営会社による運営、愛称の公募やイベントの開催をするとともに、城下町風の風情を感じる外観や市場感を演出した内観により、地域の活性化に寄与している点が評価された。

## 1. はじめに

相馬復興市民市場（浜の駅松川浦）は、東日本大震災の津波により大規模な被害を受けた相馬市沿岸部の産業振興、及び福島原子力発電所の事故による風評払拭を図るため、津波で被災した「相馬市ポートセンター」跡地に、復興総仕上げの拠点施設として整備。平成31年2月に基本設計業務を発注、令和元年12月に建築工事に着手し、令和2年9月末に竣工し、相馬市民市場株式会社を指定管理者として供用開始となった。

## 2. 事業の概要

相馬復興市民市場（浜の駅松川浦）は、地元漁業協同組合、観光・スポーツ等の関係団体から津波で被災した「水産物直売センター」に代わる施設の整備要望を受け、本市沿岸部の地域産業振興、原発事故による風評の払拭や地産地消の推進を図ることを目的としている。

切妻の瓦屋根や下見板張りの壁面で構成することで、相馬の歴史と文化を感じさせる風格ある景観を形成している。施設の内観は、地元で獲れる魚を内壁面にカレンダー化して表示しており、今旬な魚が一目で分かるように工夫し、風評払拭のため、地魚の魅力をPRしている。また、天井が吹き抜け構造になっており、むき出しの鉄骨が“市場”を連想させるような武骨な雰囲気演出している。



相馬復興市民市場（浜の駅松川浦）空撮写真

## 3. 事業の成果

整備前に採算性の確保が課題とされていたが、大規模小売店（スーパー）経営者、水産加工業者、旅館業者、水産仲買業者、卸売業者、漁業者の地元経営者を集めて立ち上げた運営会社が、各方面でのノウハウやアイデアを生かし運営することで、経営状況は当初の想定を大きく上回ることができた。

浜の駅松川浦を訪れたお客様が、松川浦地区の民宿や食堂などにも、足を運んで下さる様子が見受けられており、本施設の集客が“浜の賑わい”を創出している。



マグロの解体ショーに集まるお客様

## 4. おわりに

令和3年4月24日に「相馬福島道路」が全線開通したことで、相馬地方と県北地方、山形方面がつながり、交流促進が進んだ中で、浜の駅松川浦は遠方から多くのお客様を迎え入れた。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、大々的なイベントの開催に二の足を踏まざるを得ない状況や、震度6強を計測した、令和4年3月16日の福島県沖地震では、断水による臨時休業を余儀なくされるなど、苦境に立たされる場面もあった。

今後は、原発処理水の海洋放出の影響で、当施設の主力商品である相馬の水産物が、新たな風評被害を受けることが想定されるが、浜の駅松川浦は、今後も相馬市の復興のシンボルとして、災害や風評被害に負けず、“浜の賑わい”を創出し続けることが期待される。

賛助会員 光洋電設(株)